

定量法 本品約 0.5 g を精密に量り、ビタミン A 定量法の第 2 法により試験を行う。

貯法

保存条件 遮光して、ほとんど全満するか、又は空気を「窒素」で置換して保存する。

容器 気密容器。

キキョウ

Platycodon Root

PLATYCODI RADIX

桔梗根

本品はキキョウ *Platycodon grandiflorum* A. De Candolle (*Campanulaceae*) の根である。

性状 本品は不規則なやや細長い紡錘形～円すい形を呈し、しばしば分枝し、外面は灰褐色、淡褐色又は白色である。主根は長さ 10～15 cm、径 1～3 cm で、上端に茎を除いた跡がくぼみとなって残り、その付近に細かい横じわと縦みぞがあり、多少くびれている。根頭部を除く根の大部分にはあらひ縦じわ及び横みぞがあり、また皮目よりの横線がある。質は堅いが折れやすい。折面は繊維性でなく、しばしば大きなすき間がある。横切面をルーベ視するとき、形成層の付近はしばしば褐色を帯びる。皮部の厚さは木部の径よりやや薄く、ほとんど白色で、ところどころにすき間があり、木部は白色～淡褐色を呈し、その組織は皮部よりもやや密である。

本品はわずかににおいがあり、味は初めなく、後にえぐくて苦い。

確認試験

(1) 本品の粉末 0.5 g に水 10 mL を加え、煮沸した後、放冷し、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品の粉末 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加えて水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する。

灰分 4.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 25.0 % 以上。

キキョウ末

Powdered Platycodon Root

PLATYCODI RADIX PULVERATA

桔梗根末

本品は「キキョウ」を粉末としたものである。

性状 本品は淡灰黄色～淡灰褐色を呈し、わずかににおいがあり、味は初めなく、後にえぐくて苦い。

本品を鏡検するとき、多くの無色の柔細胞の破片、網紋及び階紋道管の破片、帥管の破片、乳管の破片を認め、コルク組織の破片を認めることがある。でんぷん粒は、通例、認められないが、極めてまれに単粒を認めることがある。

確認試験

(1) 本品 0.5 g に水 10 mL を加え、煮沸した後、放冷し、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加えて水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈し、上層は青緑色～緑色を呈する。

純度試験 異物 本品を鏡検するとき、繊維、石細胞及びその他の異物を認めない。

灰分 4.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 25.0 % 以上。

キキョウ流エキス

Platycodon Fluidextract

製法 本品は「キキョウ」の粗末をとり、25 vol% エタノールを用い、流エキス剤の製法により製する。ただし、25 vol% エタノールの代わりに「エタノール」及び「精製水」適量を用いて製することができる。

性状 本品は赤褐色の液で、水にわずかに混濁して混和し、味は初め緩和で、後にえぐくて苦い。

確認試験

(1) 本品 0.5 mL に水 10 mL を加え、激しく振り混ぜるとき、持続性の微細な泡を生じる。

(2) 本品 1 滴を無水酢酸 2 mL に溶かし、硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤色～赤褐色を呈する。

純度試験 でんぷん 本品 1 mL に水 4 mL を混和し、これに希ヨウ素試液 1 滴を加えるとき、液は紫色又は青色を呈しない。

成分含量 本品 5 mL を正確に質量既知のビーカーにとり、水浴上で蒸発乾固し、105 °C で 5 時間乾燥するとき、残留物の量は 0.50 g 以上である。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

キササゲ

Catalpa Fruit

CATALPAE FRUCTUS

本品はキササゲ *Catalpa ovata* G. Don 又は *Catalpa bungei* C. A. Meyer (*Bignoniaceae*) の果実である。

性状 本品は細長い棒状を呈し、長さ 30～40 cm、径約 0.5 cm である。外面は暗褐色で、内部には多数の種子がある。種子は偏平又はやや半管状を呈し、長さ約 3 cm、幅約 0.3 cm、灰褐色で、その両端は毛状を呈し、毛状部は長さ各約 1 cm である。本品の果皮は薄く、折れやすい。

本品はほとんどにおいがなく、味はわずかに渋い。

確認試験 本品の粉末 1.0 g に水 20 mL を加え、水浴上で 5 分間加温し、直ちにろ過する。ろ液を分液漏斗に入れ、1-ブタノール 20 mL ずつで 2 回抽出する。全抽出液を合わせ、水浴上で 1-ブタノールを留去し、残留物をメタノール 1 mL に溶かし、試料溶液とする。別にパラオキシ安息香酸 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シ

リカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/エタノール（99.5）/水混液（20：2：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 254 nm）を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た暗紫色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。また、試料溶液から得たパラオキシ安息香酸に相当するスポットの移動距離を 1 とするとき、その相対距離 0.3 付近に暗紫色のスポットを認める。

純度試験 果柄 本品は果柄 5.0 % 以上を含まない。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 0.5 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 8.0 % 以上。

キジツ

Immature Orange

AURANTII FRUCTUS IMMATURUS

枳実

本品はダイダイ *Citrus aurantium* Linné var. *daidai* Makino, *Citrus aurantium* Linné 又はナツミカン *Citrus natsudaidai* Hayata (*Rutaceae*) の未熟果実をそのまま又はそれを半分に横切したものである。

性状 本品はほぼ球形で径 1 ~ 2 cm, 又は半球形で径 1.5 ~ 4.5 cm である。外面は濃緑褐色~褐色でつやがなく、油室による多数のくぼんだ小点がある。横切面は周辺が厚さ約 0.4 cm の外果皮及び中果皮からなり、表皮に接する部分は黄褐色、その他は淡灰褐色を呈する。中心部は放射状に 8 ~ 16 個の小室に分かれ、各室は褐色を呈してくぼみ、しばしば未熟の種子を含む。

本品は特異なおいがあり、味は苦い。

確認試験 本品の粉末 0.5 g にメタノール 10 mL を加え、2 分間穏やかに煮沸した後、ろ過し、ろ液 5 mL にリボン状のマグネシウム 0.1 g 及び塩酸 1 mL を加えて放置するとき、液は赤紫色を呈する。

灰分 7.0 % 以下。

牛脂

Beef Tallow

SEVUM BOVINUM

本品はウシ *Bos taurus* Linné var. *domesticus* Gmelin (*Bovidae*) の新鮮な脂肪組織に水を加え、加熱して溶出し、精製して得た脂肪である。

性状 本品は白色均質の塊で、わずかに特異なおいがあり、味は緩和である。

本品はジエチルエーテル又は石油エーテルに溶けやすく、エタノール（95）に極めて溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は低温で砕くことができるが、30 °C 以上で軟化する。

融点：42 ~ 50 °C（第 2 法）

酸価 2.0 以下。

けん化価 193 ~ 200

ヨウ素価 33 ~ 50（試料がシクロヘキサン 20 mL で溶けない場合は、共栓フラスコを温湯中で振り混ぜて溶かす。それでも溶けない場合は、溶剂量を増やす）

純度試験

(1) 水分及び着色度 本品 5.0 g を水浴上で加熱して溶かすとき、液は澄明で、水を分離析出しない。また、この液を 10 mm の層として観察するとき、無色~わずかに黄色である。

(2) アルカリ 本品 2.0 g に水 10 mL を加え、水浴上で加温して溶かし、強く振り混ぜる。冷後、分離した水液にフェノールフタレイン試液 1 滴を加えるとき、液は無色である。

(3) 塩化物 本品 1.5 g にエタノール（95）30 mL を加え、還流冷却器を付け、10 分間煮沸する。冷後、ろ過し、ろ液 20 mL に硝酸銀のエタノール（95）溶液（1 → 50）5 滴を加えるとき、液の混濁は次の比較液より濃くない。

比較液：0.01 mol/L 塩酸 1.0 mL にエタノール（95）を加えて 20 mL とし、硝酸銀のエタノール（95）溶液（1 → 50）5 滴を加える。

貯法 容器 密閉容器。

吸水軟膏

Absorptive Ointment

製法

白色ワセリン	400 g
セタノール	100 g
サラシミツロウ	50 g
セスキオレイン酸ソルビタン	50 g
ラウロマクロゴール	5 g
パラオキシ安息香酸エチル	1 g
又はパラオキシ安息香酸メチル	
パラオキシ安息香酸ブチル	1 g
又はパラオキシ安息香酸プロピル	
精製水	適量

全量 1000 g

本品は「白色ワセリン」、「セタノール」、「サラシミツロウ」、「セスキオレイン酸ソルビタン」及び「ラウロマクロゴール」をとり、水浴上で加熱して溶かし、かき混ぜて約 75 °C に保ち、これにあらかじめ「パラオキシ安息香酸メチル」又は「パラオキシ安息香酸エチル」及び「パラオキシ安息香酸プロピル」又は「パラオキシ安息香酸ブチル」を「精製水」に加え、80 °C に加温して溶かした液を加え、かき混ぜて乳液とした後、冷却し、固まるまでよくかき混ぜて製する。

性状 本品は白色で光沢があり、わずかに特異なおいがある。

貯法 容器 気密容器。

乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン

Freeze-dried Inactivated Tissue Culture Rabies Vaccine

本品は不活化した狂犬病ウイルスを含む乾燥製剤である。